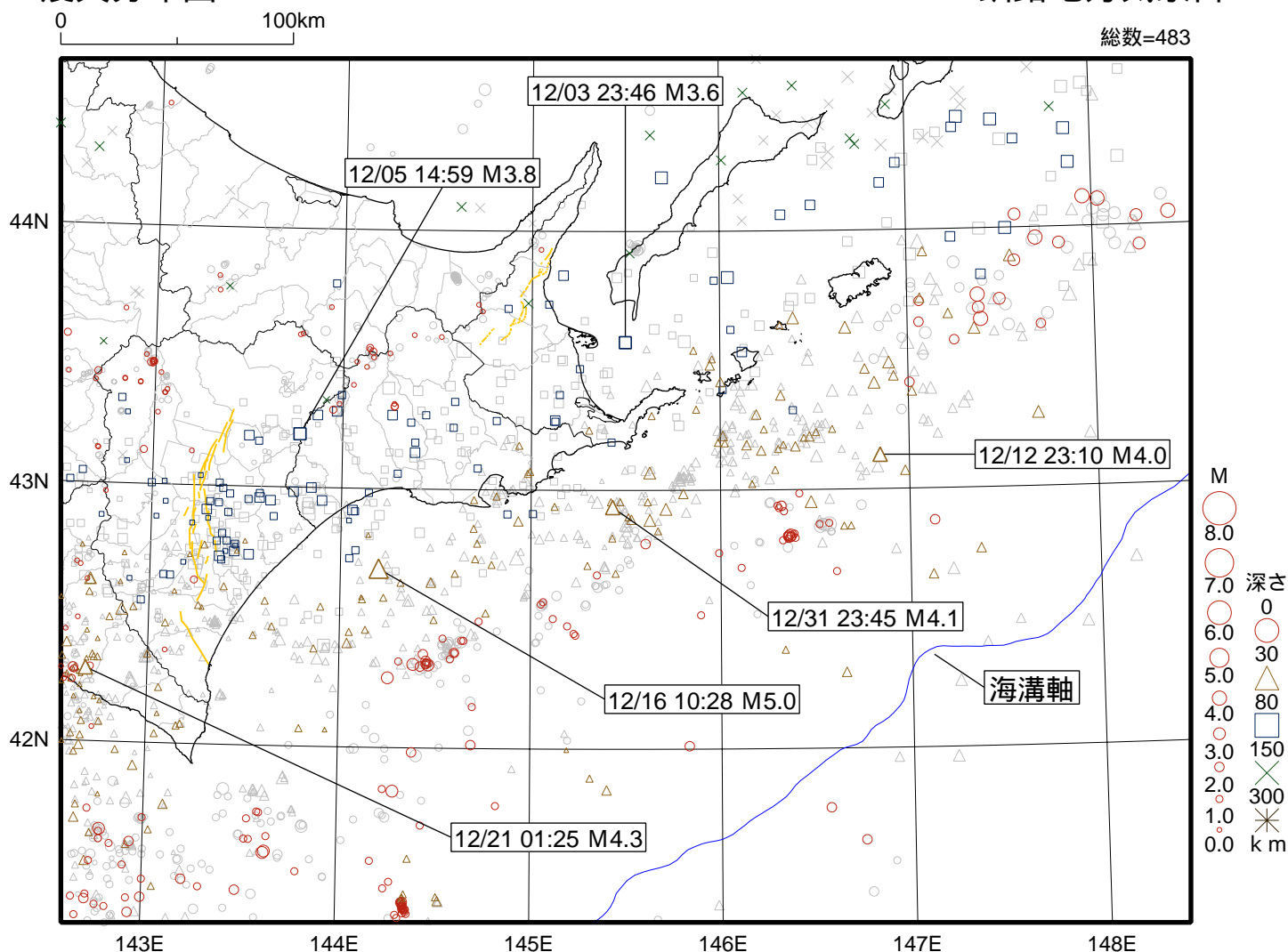


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2020年12月1日～2020年12月31日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2020年12月）

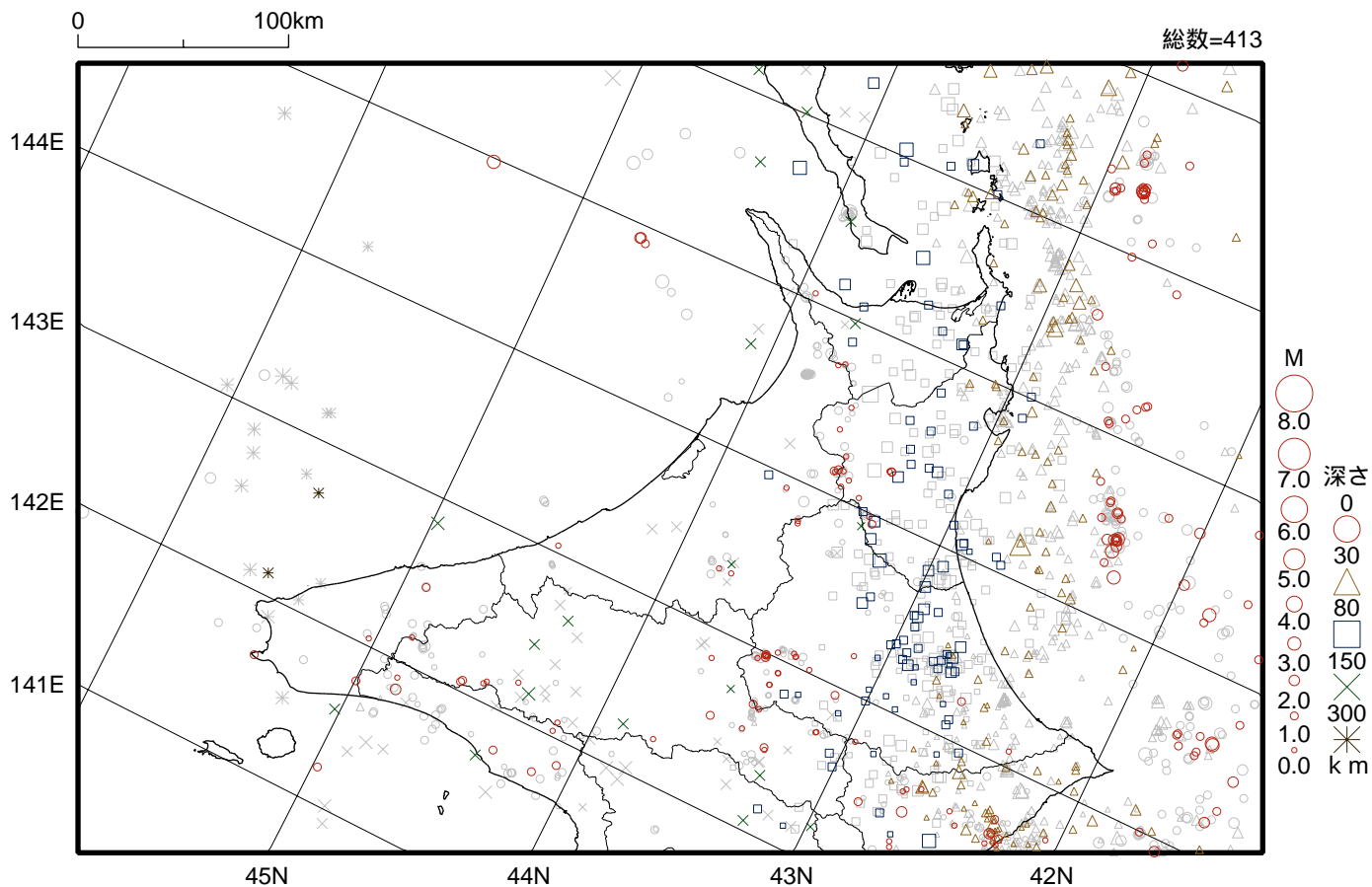
この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は9回(11月は6回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

16日10時28分、釧路沖を震源とする地震(M5.0、深さ66km)により、釧路市、白糖町、大樹町で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。

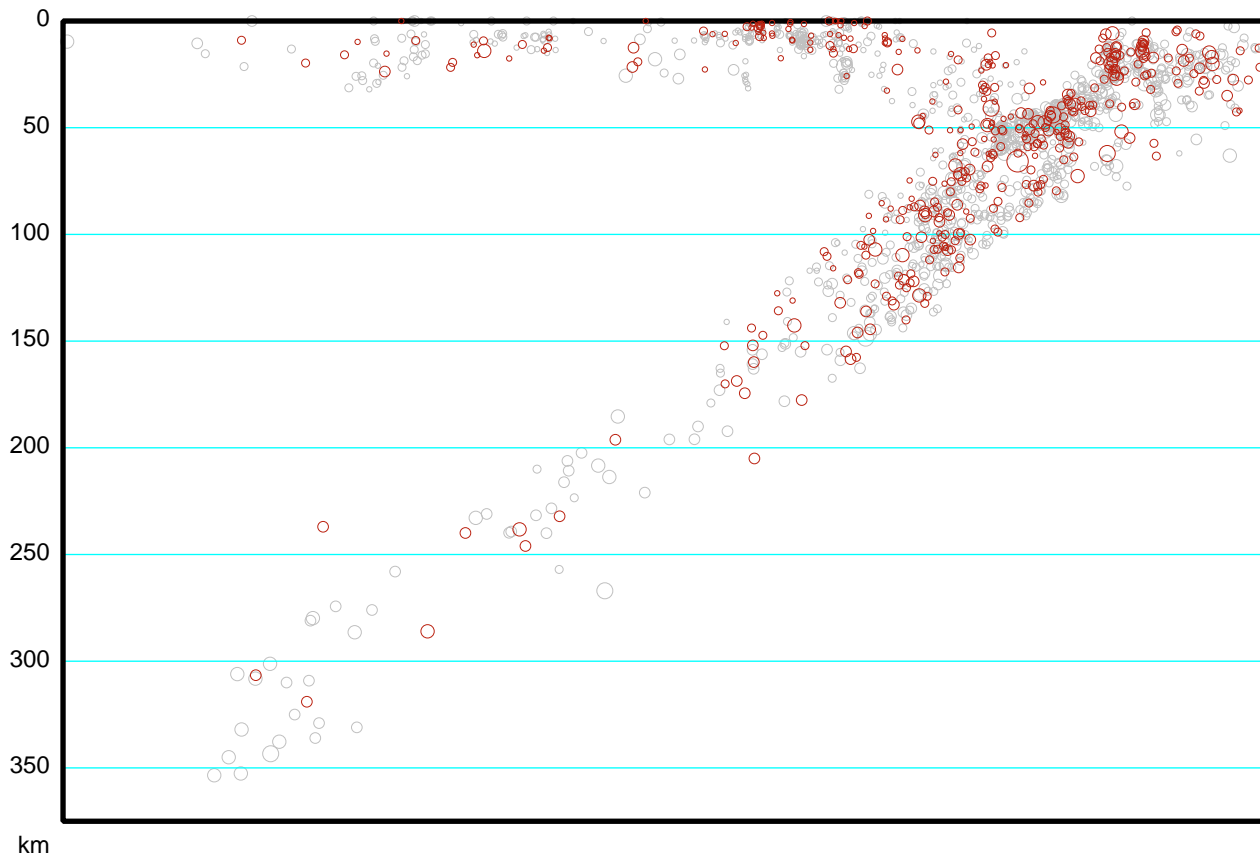
21日02時23分、青森県東方沖を震源とする地震(M6.5、深さ43km、震央分布図の範囲外)により、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。

2020年12月1日 ~ 2020年12月31日

震央分布図



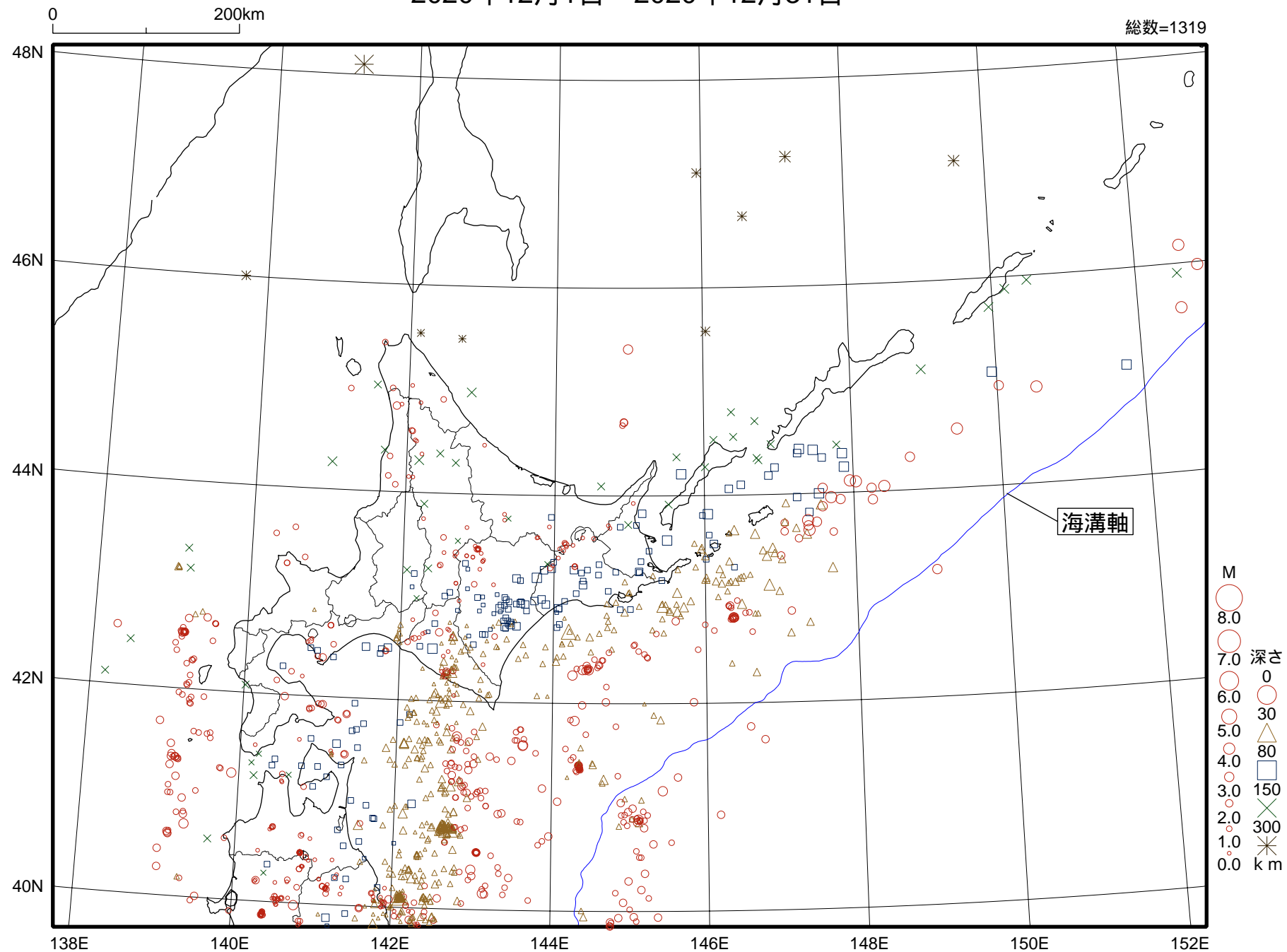
断面図



北海道の地震活動図

2020年12月1日 ~ 2020年12月31日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2020年12月)

| 年月日 地方 | 時分 震度 | 震央地名 震度観測点名 | 北緯(N) | 東経(E) | 深さ(km) | 規模(M) |
|-------------------------------------|--|--|-----------|------------|--------|-------|
| 2020年12月1日 釧路地方 十勝地方 根室地方 | 07時54分 震度2 震度1 震度1 震度1 | サハリン西方沖 釧路市黒金町*(18) 釧路市音別町中園*(15) 釧路市幸町(12) 釧路町別保*(08) 厚岸町尾幌(07) 厚岸町真栄*(13) 標茶町塘路*(12) 白糠町西1条*(11) 帯広市東4条(08) 帯広市東6条*(09) 浦幌町桜町*(13) 十勝大樹町東本通*(09) 十勝大樹町生花*(10) 別海町常盤(08) 別海町本別海*(06) 根室市厚床*(11) 根室市落石東*(07) 根室市瑛瑠瑠*(07) | 48°05.8 N | 141°10.8 E | 619 km | M6.7 |
| 2020年12月3日 根室地方 | 23時46分 震度1 | 国後島付近 別海町常盤(06) | 43°34.2 N | 145°29.8 E | 129 km | M3.6 |
| 2020年12月5日 釧路地方 十勝地方 根室地方 | 14時59分 震度2 震度1 震度1 震度1 | 十勝地方中部 釧路市黒金町*(18) 釧路市幸町(14) 標茶町塘路*(10) 白糠町西1条*(08) 十勝大樹町生花*(06) 別海町常盤(05) 別海町本別海*(10) 根室市厚床*(08) 根室市落石東*(08) | 43°12.3 N | 143°46.4 E | 107 km | M3.8 |
| 2020年12月12日 十勝地方 釧路地方 根室地方 | 16時18分 震度2 震度1 震度1 震度1 | 岩手県沖 幕別町忠類錦町*(15) 浦幌町桜町*(20) 十勝大樹町東本通*(16) 鹿追町東町*(11) 新得町2条*(11) 帯広市東4条(13) 帯広市東6条*(12) 音更町元町*(13) 土幌町土幌*(07) 十勝清水町南4条(12) 本別町北2丁目(07) 本別町向陽町*(07) 十勝大樹町生花*(08) 広尾町並木通(09) 広尾町白樺通(05) 弟子屈町弟子屈*(06) 釧路市幸町(05) 標茶町塘路*(09) 白糠町西1条*(11) 別海町常盤(09) 別海町本別海*(08) 根室市落石東*(07) 根室市瑛瑠瑠*(08) | 40°05.6 N | 142°06.5 E | 48 km | M5.6 |
| 2020年12月12日 根室地方 | 23時10分 震度1 | 根室半島南東沖 根室市落石東*(05) | 43°07.9 N | 146°50.7 E | 62 km | M4.0 |
| 2020年12月16日 十勝地方 釧路地方 根室地方 | 10時28分 震度3 震度2 震度1 震度3 震度2 震度1 震度2 震度1 震度2 震度1 | 釧路沖 十勝大樹町生花*(29) 新得町2条*(17) 足寄町南1条*(18) 帯広市東4条(15) 十勝清水町南4条(15) 幕別町忠類明和(16) 幕別町忠類錦町*(23) 幕別町本町*(19) 十勝池田町西1条*(22) 豊頃町茂岩本町*(16) 本別町北2丁目(16) 本別町向陽町*(17) 浦幌町桜町*(23) 中札内村東2条*(15) 更別村更別*(18) 十勝大樹町東本通*(23) 広尾町並木通(15) 鹿追町東町*(13) 足寄町上螺湾(12) 陸別町陸別*(10) 帯広市東6条*(14) 音更町元町*(10) 土幌町土幌*(05) 広尾町白樺通(12) 釧路市黒金町*(27) 釧路市阿寒町中央*(26) 釧路市音別町中園*(29) 白糠町西1条*(29) 弟子屈町弟子屈*(19) 釧路市幸町(24) 釧路市音別町尺別(21) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(15) 釧路町別保*(18) 厚岸町尾幌(18) 浜中町湯沸(16) 浜中町茶内*(19) 標茶町塘路*(19) 鶴居村鶴居東*(19) 弟子屈町美里(14) 弟子屈町サワンチサップ*(06) 厚岸町真栄*(12) 標茶町川上*(14) 中標津町養老牛(15) 中標津町丸山*(16) 標津町北2条*(19) 別海町常盤(22) 別海町西春別*(20) 別海町本別海*(18) 根室市厚床*(17) 根室市落石東*(19) 根室市瑛瑠瑠*(15) 標津町古多糠(05) 羅臼町緑町*(05) 根室市牧の内*(11) | 42°41.4 N | 144°12.0 E | 66 km | M5.0 |
| 2020年12月21日 十勝地方 | 01時25分 震度1 | 日高地方中部 新得町2条*(09) 帯広市東4条(07) 帯広市東6条*(07) 十勝清水町南4条(10) 幕別町忠類錦町*(11) 浦幌町桜町*(10) 十勝大樹町東本通*(06) 十勝大樹町生花*(06) 広尾町白樺通(05) | 42°17.0 N | 142°40.7 E | 41 km | M4.3 |
| 2020年12月21日 十勝地方 釧路地方 根室地方 | 02時23分 震度2 震度1 震度2 震度1 震度1 | 青森県東方沖 鹿追町東町*(16) 新得町2条*(17) 帯広市東4条(18) 帯広市東6条*(18) 音更町元町*(16) 十勝清水町南4条(18) 幕別町忠類錦町*(18) 幕別町本町*(15) 浦幌町桜町*(22) 中札内村東2条*(15) 更別村更別*(16) 十勝大樹町東本通*(19) 広尾町並木通(16) 上土幌町清水谷*(11) 足寄町上螺湾(07) 土幌町土幌*(12) 幕別町忠類明和(05) 豊頃町茂岩本町*(13) 本別町北2丁目(10) 本別町向陽町*(09) 十勝大樹町生花*(13) 広尾町白樺通(12) 釧路市音別町中園*(19) 白糠町西1条*(16) 弟子屈町美里(06) 弟子屈町弟子屈*(09) 釧路市幸町(09) 釧路市音別町尺別(07) 釧路市黒金町*(14) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(14) 釧路町別保*(14) 厚岸町尾幌(07) 厚岸町真栄*(08) 標茶町川上*(05) 標茶町塘路*(11) 鶴居村鶴居東*(08) 中標津町養老牛(06) 別海町常盤(14) 別海町西春別*(13) 別海町本別海*(13) 根室市落石東*(14) 根室市瑛瑠瑠*(09) | 40°46.9 N | 142°41.5 E | 43 km | M6.5 |
| 2020年12月31日 釧路地方 根室地方 | 23時45分 震度2 震度1 震度2 震度1 | 釧路沖 浜中町湯沸(17) 浜中町茶内*(08) 根室市牧の内*(22) 根室市厚床*(16) 根室市弥栄(06) 根室市落石東*(12) 根室市瑛瑠瑠*(10) | 42°56.0 N | 145°25.8 E | 44 km | M4.1 |

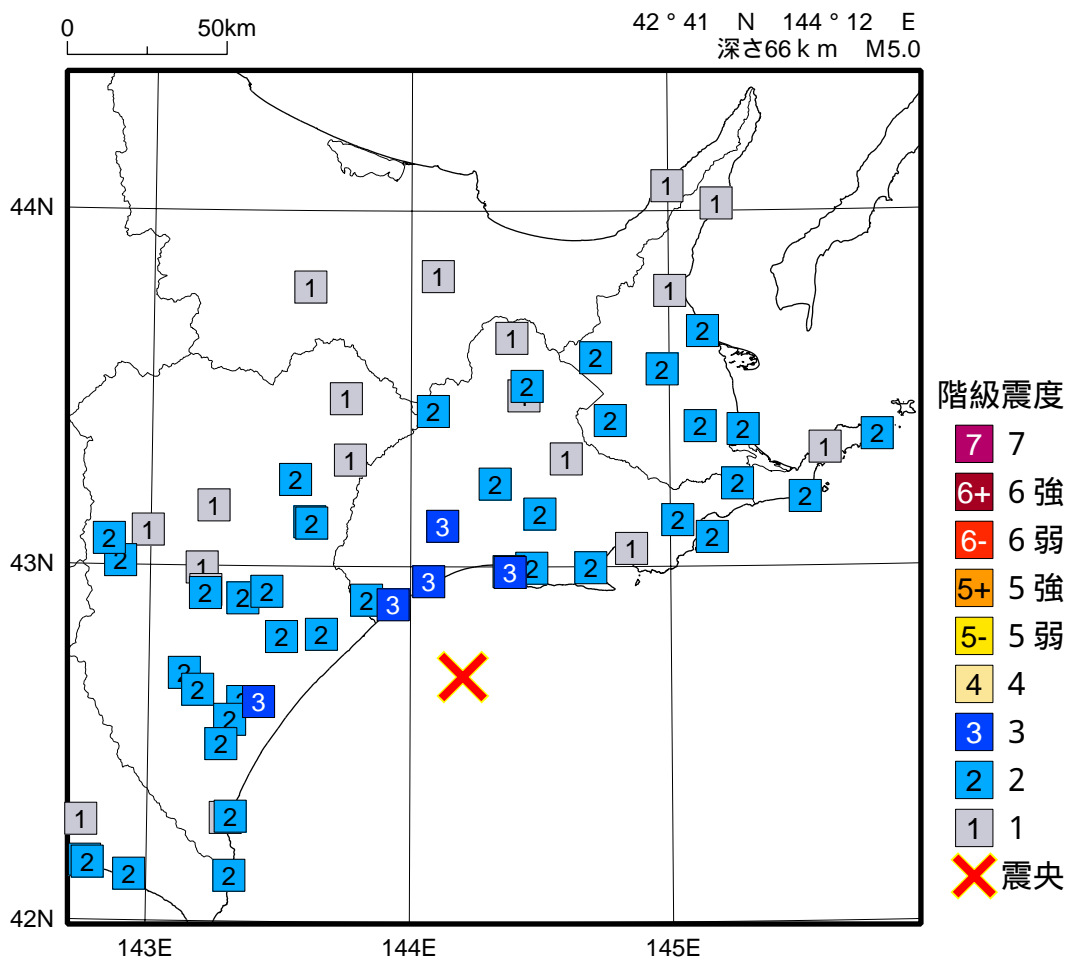
* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

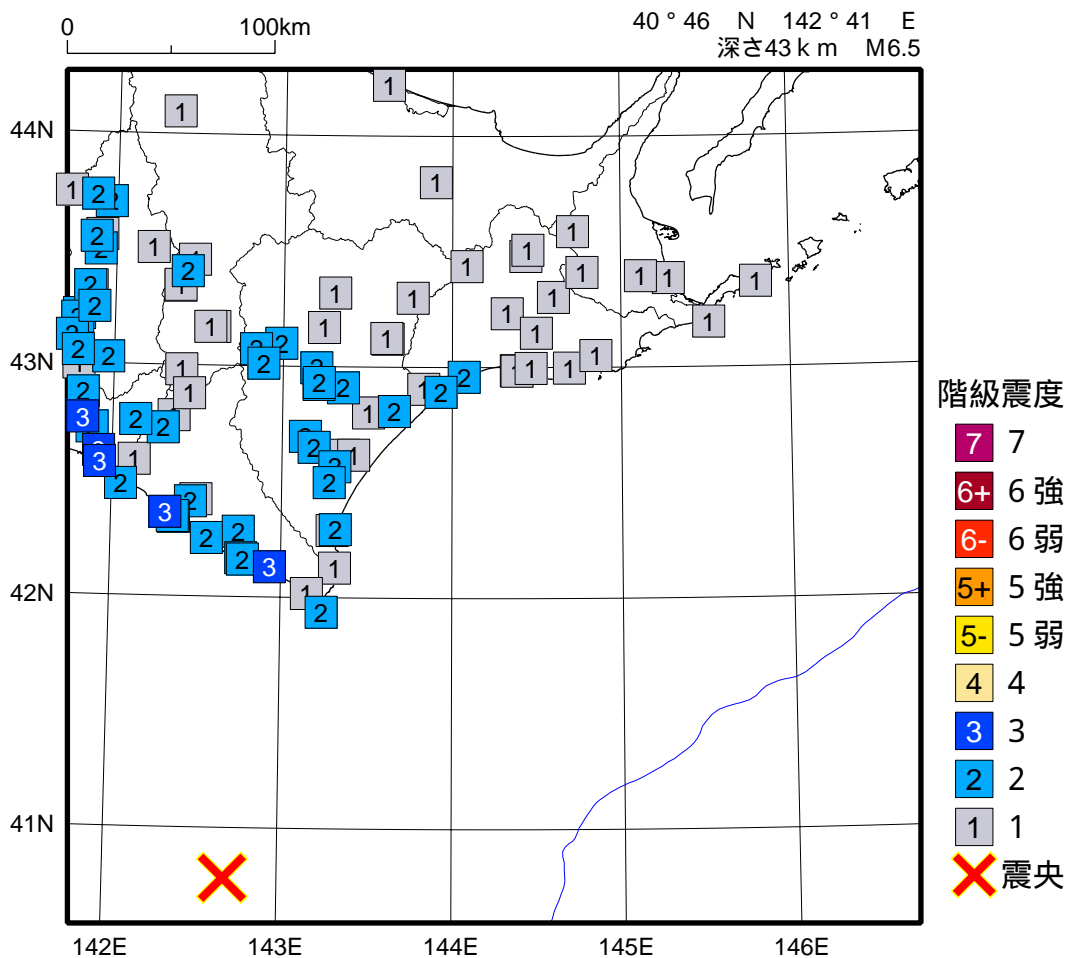
計測震度と震度階級の関係

| | | | | | | | | | | |
|------|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 計測震度 | ~0.4 | 0.5~1.4 | 1.5~2.4 | 2.5~3.4 | 3.5~4.4 | 4.5~4.9 | 5.0~5.4 | 5.5~5.9 | 6.0~6.4 | 6.5~ |
| 震度階級 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | 7 |

2020年12月16日10時28分 釧路沖の地震の震度分布図



2020年12月21日02時23分 青森県東方沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 2020年4月18日から10月23日まで、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。
- ・ 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。また、過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～北海道の活断層について～

●活断層とは

岩盤にひずみが限界まで蓄積すると、弱面（断層面）を境として急激にずれ動きます。これが地震です。過去から繰り返し地震を起こし、将来的にも地震を起こすと考えられている断層を「活断層」と呼びます。

現在、日本の周辺には約 2,000 もの活断層が見つっていますが、それ以外にも多数の活断層が存在していると言われています。

●北海道の活断層

北海道の中軸部には、宗谷丘陵から日高山脈にかけて南北に丘陵や山地が存在し、これら丘陵や山地と周辺にある盆地や平野との境目に沿って活断層が分布しています（図1）。

政府の地震調査研究推進本部では、規模の大きな地震が発生する可能性のある全国約100の主要な活断層について、今後発生する地震の規模や発生確率を評価しています。北海道内に主要な活断層は9あり、そのうち、「黒松内低地断層帯」と「サロベツ断層帯」は、今後の地震発生確率が高く評価されています。

＜北海道の主要な活断層＞

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| 1 | サロベツ断層帯 | (M7.6程度) |
| 2 | 標津断層帯 | (M7.7程度以上) |
| 3 | 十勝平野断層帯 | (M8.0程度) |
| 4 | 富良野断層帯 | (M7.2程度) |
| 5 | 増毛山地東縁断層帯 | |
| | ・沼田一砂川付近の断層帯 | (M7.8程度) |
| 6 | 当別断層 | (M7.0程度) |
| 7 | 石狩低地東縁断層帯 | (M7.9程度) |
| 8 | 黒松内低地断層帯 | (M7.3程度以上) |
| 9 | 函館平野西縁断層帯 | (M7.0 - 7.5程度) |

※カッコ内は予想される地震の規模（M：マグニチュード）

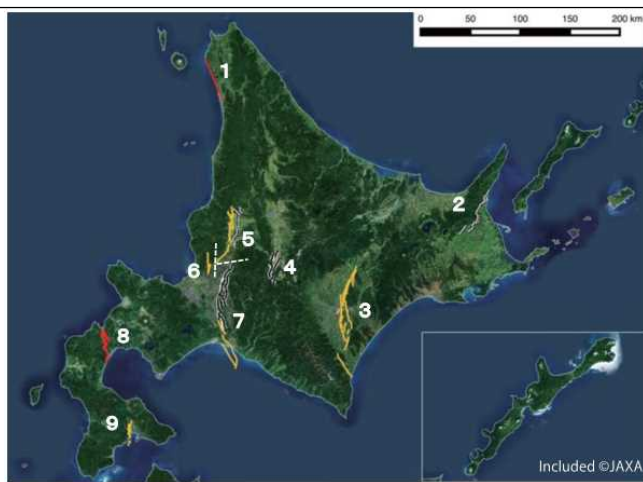


図1 北海道の主要な活断層（地震調査研究推進本部による）
赤の活断層は発生確率の高いことを示す

●地震への備え

活断層による地震としては平成28年（2016年）熊本地震が記憶に新しいですが、北海道では近年活断層による地震は発生していません。しかし、平成30年北海道胆振東部地震など、活断層との関連が明らかでない場所でも大きな被害をもたらす地震は発生する可能性があります。

平素から、建物の耐震補強、家具の固定、水や食料の備蓄、避難場所の確認など、地震全般への備えを進めるほか、住居内でなるべくものを置かない安全スペースを作り、強い揺れが発生した時には安全スペースへ退避し姿勢を低くして身の安全を図るなど、突然の揺れにも対応できるよう家族で相談しながら備えましょう。